

令和6年3月1日発行

かみすながわ

# 議会だより

令和5年 第4回定例会

第27号

発 行 上砂川町議会 編 集 議会活性化特別委員会  
上砂川町議会事務局 電話 0125-62-2880

第12回雪ん子まつり



## 掲載内容

* 主な議会政務報告について	2 P
* 一般質問と答弁内容（要旨）について	3 P
* 行政常任委員会報告について	6 P
* 町内行事への参加報告について	6 P
* 議員の呴きコーナー	8 P

## 主な議会政務報告について

令和6年1月以降～

年月日	会 議 行 事 名		場 所	出 席 者
R6 1	1 上砂川神社元旦祭		上砂川神社	副議長
	5 仕事始めの式 新年交礼会		役場	副議長
			町民センター	副議長他3名
	7 上砂川町20歳のつどい		町民センター	副議長 行政常任委員長
	16 上砂川商工会議所議員新年会		上砂川岳温泉	議会運営委員長
2	19 第1回上砂川町議会臨時会		議事堂	全議員
	1 令和6年第1回空知町村議会議長会定期総会		栗山町	議長
	3 第12回雪ん子まつり in 上砂川		町内	議長他
	14 第1回中・北空知廃棄物処理広域連合議会定例会		滝川市	議長
	16 石狩川流域下水道組合議会第1回定例会 第1回中空知広域市町村圏組合議会定例会		滝川市	議長
	21 議会運営委員会		役場	全委員・議長
	上砂川建設業協会懇談会		上砂川岳温泉	議長
	29 空知中部広域連合議会第1回定例会 第1回砂川地区保健衛生組合議会定例会 第1回砂川地区広域消防組合議会定例会		奈井江町 砂川市 砂川市	議長・小澤議員 越前議員 越前議員

### 令和6年第1回上砂川町議会定例会を傍聴しませんか？

本会議は、簡単な手続きで自由に傍聴することができます。町議会の活動などを知るよい機会ですので、ぜひ傍聴にお越しください。

※日程は変更となることがあります。

○議会日程：3月7日（木）～・18日（月）

○傍聴可能日：7日・8日・13日・18日

## 一般質問

(質問者順)

議席番号2番

藏根 高史議員



**質問要旨**  
高齢者の運転事故抑止の取り組みについて

アセセルの踏み間違いによる事故が全国的に依然として発生している現状を踏まえ、急発進制装置未設置車に対し、設置が必要ではないかと考えます。また高齢者の安全運転への意識向上を図るとともに、認知機能低下による運転不適格な高齢

ドライバーの早期発見や、免許の自主返納を促すことを目的とした、高齢者への定期的な運転講習を実施してはどうかと考えます。

## 答弁要旨

1点目のご質問、急発進抑制装置の設置に対する支援についてあります。国交省においてありますが、国交省においては既にサポート補助制度を終了したもの、高齢運転者の特性を踏まえた改正道路交通法の施行や移動手段確保などの対策を継続しており、本町においては運転に不安がある方に対し3年間有効なタクシー券5万円を交付する高齢者運転免許証自主返納支援事業を実施しております。免許を返納しても少しでも外出しやすくなるよう乗合タクシー制度を実施し、これらの事業を最優先に進めることにより、安心して使える快適な場所に安心して使える快適な場所を作り替えていくことが望まれています。この学校トイレの洋式化の現状は、中央小学校の洋式便器率が35.7%、上砂川中学校は57.1%になります。災害時には中央小学校・上砂川中学校の両校は指定避

の設置に対する支援については、国交省や警察庁の取り組みに注视するとともにニーズも鑑み、今後も検討してまいりたいと考えております。

2点目のご質問、高齢者への運転講習の実施についてであります。認知機能の疑いがある場合は医師の判断が必要であり、その検査は警察主導で行つてないことから、認知機能低下による運転不適格の判断や早期発見を行なうことは難しいと考えております。しかしながら、例えば認定こども園や小学校において交通安全教育を行つているのと同様、老人クラブ単位での交通安全教室や運転講習の開催等について関係機関へ協力を仰ぐことは可能と思われますので、ニーズに応じた対応を図つてしまいたいと考えております。

**質問要旨**  
避難所としての学校施設のトイレ整備及び福祉避難所について



議席番号4番

小澤 一文議員

学校施設のトイレは洋式化に加え、感染症対策等の衛生面での向上を図り、児童・生徒が安心して使える快適な場所に作り替えていくことが望まれています。この学校トイレの洋式化の現状は、中央小学校の洋式便器率が35.7%、上砂川中学校は57.1%になります。災害時には中央小学校・上砂川中学校の両校は指定避

難所として利用されますが、こうした学校トイレの整備に関しては、予め指定避難所として利用されることを前提にした考え方で対応するのが効果的ではないかと考えます。避難所の生活環境改善のためのトイレ整備について、災害時を見据え、避難所となる学校の災害対策機能強化の一環として、学校トイレの整備を進めるべきとを考えますが、見解をお伺いします。

## 答弁要旨

はじめに、現在各学校に設置されているトイレの状況は、男子・女子・教員用あわせて、小学校で28か所中、和式トイレが18か所、中学校では使われていない3階を除き28か所中、和式トイレが12か所ございます。議員が述べられたように学校施設は、災害時において指定避難所となつており、被災者が一定時間滞在する際、衛生面において洗浄機能等のついた洋

式トイレは望ましいと考えますものの、現在の和式トイレにつきましては小・中学校校舎の大規模改修時において、各学校側より子どもたちが外出の際、和式トイレの使い方がわかるようにするため残してほしいとの要望があり今に至っております。

災害時におきましては、災害対策本部において、発災状況などに応じてどこの避難所を開設するのか決定いたしますが、議員が述べられたとおり災害から復旧は第一に教育活動の再開でありますことから、災害の規模にもよりますが、学校施設は極力授業の優先を念頭に置きながら避難所の開設を災害対策本部にて考えております。

また、断水を伴う災害時には水洗トイレは使えないことから、町では携帯トイレを備蓄しており、このトイレ等で対応することとしております。

小・中学校は避難所として位置づけられていることから、あらかじめ対策は大変重要と認識いたしますが、執行方針で述べておりますとおり、小中一貫教

育の推進に向けた今後の学校のあり方について検討を始めており、これを実施するために校舎を新築もしくは増改築を行う必要が想定されることから、小中一貫校の設置を検討する際に、トイレのあり方も併せて検討しております。

つぎに、学校施設利用計画の策定でありますが、文部科学省では、本年7月に北海道教育委員会を通して昨年1月に行つた「避難所となる公立学校施設の防災機能に関する調査結果」を示した中で、避難所に指定されている全国の学校数29,856校のうち、「学校施設の利用方針」を策定している学校数は68.9%、20,564校と公表いたしました。

整備を進め、発災時には必要な物資を必要な状態にありますことから、先に述べた小中一貫校の設置時に合わせて、これら防災機能を網羅した計画の策定を行つてまいりますことを申し上げ、答弁いたします。

## 質問要旨

### 福祉避難所について

福祉避難所は、災害時に一次避難所に避難した方のうち、一次避難所での生活が困難で、特別な配慮が必要な方を対象に開設される二次避難所です。本市では、ディサービスセンターの1施設が指定されています。令和3年5月に福祉避難所の確保・運営ガイドラインで、要配慮者の福祉避難所への直接避難を促進するとの改訂がありました。特に避難行動要支援者について個別避難計画の作成が市町村の努力義務となり、

要配慮者お一人おひとりの状況の把握に務めると共に事前に受け入れ対象者の調整を行うものとしています。

## 答弁要旨

本町においては災害時における安否確認や円滑な避難支援等を行うため、平成27年度に個別避難計画を策定し、避難行動要支援者名簿に登録された方に対し、特に配慮を要する事項や避難支援協力者などの情報を整備したところであります。

万一、大規模災害が発生した際には、上砂川町福祉避難所開設・対応マニュアルに従い、一般避難所での生活が困難な避難行動要支援者等の受け入れ先として、福祉避難所を開設いたしましたが、災害時の現場では多くの場面で臨機応変な対応が求められます。

このことから、発災状況や移送体制の状況に応じて、災害対策本部長の判断・指示による緊急一時的な避難所の開設が可能であることに加え、防災担当や

保健師、地域包括支援センター、社会福祉協議会などが連携することにより、議員ご質問の福祉避難所への直接避難も含め、要支援者各自の生活状況にあわせた柔軟な避難支援を行うものと

しております。

本町においては有事の際に備え、陸上自衛隊など多くの関係機関と防災協定を締結している中、幸い、大規模な災害は発生しておりませんが、避難支援はもとより、平常時の取り組みとしており、個人情報の観点から本人の同意を得たうえで、避難行動要支援者名簿の整備更新を行うとともに物資や移送等の確保、更には情報の共有化と地域防災力強化の観点から各町自治会の協力を得ながら、自主防災組織の結成に努めるなど、防災体制の強化を図つてまいりますことを申し上げ、答弁といたします。



議席番号3番

笹木 笑子議員



## 質問要旨 「災害及び緊急防災情報伝達手段」について

本町における災害及び防災情報の伝達手段は、主に広報車、ライン、登録制メール、地上デジタルテレビ放送等での伝達であるが、ライン登録数は675人、防災事前登録数は165人です。この数字から、スマートフォンを利用していても、メール等からの情報は限られた方にしか届いていないと考えられる。広報車での周知も、建物の気密性が高い家屋、特に高齢者には聞き取れない状況と推測される。

自然災害にとどまらず、昨今

の熊の出没情報、Jアラートの配信など緊急を要する情報も含め、伝達手段として多重性、多様性の視点を持った対応が重要と考える。

情報発信の伝達手段について、町の考えをお聞かせいただきました。情報発信の伝達手段について、毎日定時的に放送することで時報として、行事、イベント情報の周知など広報としての利便性も高いと考える。

## 答弁要旨

本町では災害対策基本法に基づき、災害に関する予報・警報を住民に伝達するため、ホームページや広報車、消防サイレンの吹鳴、そしてスマートフォンやテレビの活用による周知に加え、小中学生の通学の際には教育委員会による独自の呼びかけを行っています。Jアラートの配信時にスマートフォンを持っていない方や児

童生徒に情報が届かないとのことで、ですが、町と砂川地区広域消防組合との協定締結により、消防によるサイレン吹鳴を行い、町民に情報周知をしており、地デジについてもスマートフォンを持っていない方への貴重な情報伝達ツールとなっています。

国においては、住民への災害情報等を確実に伝達するために複数の災害情報伝達手段の組み合

わせと一つ一つの災害情報伝達手段の強靭化を進めており、市町村にはソフト面とハード面双方による情報伝達が求められています。

のことから、現在、同報系行政無線の整備を検討しており、例えば地理的特徴を考慮した屋外スピーカーの設置個所調査、スマートフォンや携帯電話を保有していない世帯への対応として個別受信機の有効性についての確認、また費用対効果を検証しながら、より効果的な伝達手法を模索しているところであります。整備には多額の費用を要することから、国の緊急防災・減災事業債等による地方財政措置が

講じられるよう、令和7年度までに事業を進めていく予定であります。

現在のソフト面による伝達につきましても、引き続き登録制メールや町公式ラインへの登録を促すとともに、情報伝達の重要性を理解していただけるよう周知を図りながら、伝達手段の多重化について推進していくことを申し上げ答弁いたします。

12月14日に、第4回定例会の行政常任委員会を開催し、議案についての調査と説明を求めました。その後、各種事業の遂行状況、会計決算等について各担当課長との活発な質疑が行われました。

各課長と議員との情報・意見交換を通して、町民の皆様からのご意見、質問、要望などを共有し、検討・協議することが議会活動全体の向上に繋がると考えます。今後も、町民の皆様の声を反映させるべき努力をしていきたいと思います。

(記 笹木 笑子)

## 町内行事 参加報告

上砂川町新年交礼会に参加

して

1月5日新年交礼会が開催さ

れました。

今年の町長からの挨拶は元旦に突如起きた能登半島地震、2

## 行政常任委員会報告

日の羽田空港飛行機事故の犠牲になられた方々への哀悼の言葉とお見舞いから始まりました。

1年の計の始まりとしてはいさかいいもとは違う始まりでしたが、参加者それぞれが、被災地を思いここから協力して、前へ進むことを誓う会う新年の交札の場となりました。

(記 吉川 洋)

(参加者)  
越前等・小澤一文  
笹木笑子・藏根高史・石田浩二



## 上砂川町二十歳の集いに参加して



1月6日に町民センターで二十歳の集いがありました。今年は参加者が10名と少しばかりさみしい感じはしましたがそれが希望と夢をしつかりと思ひ若者らしい素晴らしい式でした。町長の挨拶があり、代表者のお礼の挨拶があり、最後に参加者全員で二十歳の皆さん未だが夢と希望一杯の素晴らしいもので有ること願い手締めで終了しました。

(記) 小澤 一文  
(参加者) 吉川 洋・笛木笑子

## 消費者協会新年会に参加して

1月31日、消費者協会の新年会が5年ぶりに行われました。町長の挨拶、吉川商工会議所会頭の祝杯で始まりました。前日から準備された手料理をいただきながら、吉田会長はじめ理事の皆さんの消費者問題に関わる寸劇、クイズと豪華賞品の抽選会、カラオケと和やかな時間を過ごし、山崎課長の締めの乾杯で終了しました。美味しい手料理は「道産子 愛食 食べ切り運動」おいしく残さず食べきらう！」の横断幕の効果もあり、どのテーブルも、きれいに食べ切っていました。フレードロスの取り組みを体現している姿は、永年にわたり消費者運動に関わってこられた姿か・・・新参者の私は感動を覚えました。

(記) 笛木 笑子  
(参加者) 吉川 洋・藏根高史

子供たちは冬の祭典に胸を躍らせていました。キツチンカー

1月31日、消費者協会の新年会が5年ぶりに行われました。宝探しやじゃんけんゲーム、そして盛大なbingoゲームは大いに盛り上がり、笑顔が絶えませんでした。

特に、巨大なジャンボ滑り台では子供たちが笑いと興奮に包まれ、家族はその元気な姿を微笑ましく見守りました。

そして、フィナーレの冬空に咲く花火は感動的で、その美しさに思わず息を飲みました。色とりどりの花火が夜空を照らし、寒い冬を温かな記憶へと変えました。

雪ん子まつりは、子供から大人まで、広く愛される素晴らしいイベントでした。寒さを忘れさせるほどの温かな雰囲気と、町の人々が共有する楽しい瞬間は、特別なものにしてくれました。これからも、雪ん子まつりが地域の絆を深め、冬の楽しみとして輝き続けることでしょう。

(記) 石田 浩二



## 議員の呟きコーナー (^.^)/~~~

指先ケアは大事だと知りました

冬が訪れると、乾燥した空気や寒さのせいで、私の爪はささくれだらけになっていました。

何度も手を洗うこともあり、ますます悪化していく一方でした。そんな時、妻がネイルの施術資格を持つていてことを思い出し、助けを求めるにしました。妻は私に、適切な指先のケア方法を教えてくれました。その中でも、特に効果的だったのがネイルオイルの使用でした。1日に3回、爪とその周囲にネイロオイルを塗ることで、爪のさくられがなくなり、健康的な状態を取り戻しました。さらに、足の爪にも同じようにケアを施した結果、綺麗な形の爪が取り戻せました。

この経験から、乾燥肌の方には爪のケアが有効だと感じました。爪にもしっかりと保湿



(記) 石田 浩二

指先のケアは、日常生活において簡単に取り入れられる重要な健康習慣です。爪の健康を保つことは、手や足の総合的な健康にもつながります。今後も、指先ケアの重要性を含めた健康に関する情報を発信していきたいと考えています。

が必要であり、ネイルオイルはその効果を發揮してくれます。また、このようなケアは性別に関係なく、誰にとつても有益だと思います。男性でもこうしたケアをすることで、健康な指先を保つことができるということを、皆さんにお伝えしたいと思います。

## 編集後記

議会広報誌の編集委員

・吉川

洋・伊藤

充章

・越前

等・小澤

一文

・石田

笑子・藏根

高史

震があり、翌2日には羽田空港で日航機と海保の飛行機の衝突事故、犠牲になられた多くの方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された皆さんの方の生活が一日も早く元に戻される事をお祈りし、お見舞いを申し上げます。

この議会だよりが発行する頃は、三月になり新年度がすぐそこまで来ている事と思います。色々な困難を乗り越えて新たな気持ちで充実した新年度を迎えるよう期待をするところであります。

政治とお金等、政治倫理の問題を考えると、本来日本人にある、道徳観、他人を思いやる心等、日本人としての基本理念を今一度我々は考え行動する事が必要と思う今日この頃です。

又、新たな気持ちで新年度を迎え、充実した議会活動を続ける事を思い議会だよりの編集をいたしました。

(記) 吉川 洋

